

2022年7月22日

各位

上場会社名 東京製鐵株式会社
 代表者 代表取締役社長 西本 利一
 (コード番号 5423 東証プライム市場)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員
 (総務部長) 奈良 暢明
 (TEL 03-3501-7721)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり2022年4月22日に公表した2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想および通期個別業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	189,000	14,000	14,500	12,500	107.95
今回修正予想(B)	183,300	23,000	23,500	20,500	179.39
増減額(B-A)	△5,700	9,000	9,000	8,000	—
増減率(%)	△3.0	64.3	62.1	64.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	116,111	11,014	11,694	10,428	87.36

2. 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	400,000	30,000	31,000	24,000	207.27
今回修正予想(B)	396,000	39,000	40,000	31,500	275.64
増減額(B-A)	△4,000	9,000	9,000	7,500	—
増減率(%)	△1.0	30.0	29.0	31.3	—
ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	270,883	31,773	33,426	31,937	269.79

修正の理由

当4-6月期におきましては、製品出荷単価が引き続き上昇した一方、主原料である鉄スクラップ価格は、海外市況の下落を受け、当初想定を下回りました。加えて全社を挙げたコストダウンの取り組みを進めたことから、6月末の原料在庫に対する評価損が発生したものの、当第1四半期の利益は概ね想定どおりの進捗となりました。

当7-9月期におきましては、主原料である鉄スクラップ価格が当4-6月期の実績を下回ると想定される一方、これまでの製品販売価格の値上げが、製品出荷単価に反映されることで、上半期の利益が期初予想を大きく上回ると見込まれます。以上の次第により、2022年4月22日公表の第2四半期累計期間および通期の業績予想について修正いたします。

なお上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、主原料である鉄スクラップ価格、鋼材の市況等により変動する可能性があります。

以上